

TAKATAの経営理念

Management Philosophy

私たちは研究開発型企業として、常に技術の向上を図り、独創的な製品を開発し、高品質の製品を適正に供給することにより、人々の健康に貢献し、社会的信用を確保するとともに、会社の発展と社員の幸福および協力者の共栄を求めて事業を進めて参ります。

TAKATA3つのA

T
A

安心品質……妥協なき高度な品質水準、品質管理への惜しみない尽力

高品質の主原料を厳選して調達し、製品出荷まで全工程を厳しく管理。
最新鋭の検査・測定機器の導入で、高度な品質検査を実現しています。

K
A

安定供給……急な発注や需要拡大にも対応しうる供給体制

安定供給を続けることは、私たちの使命です。

T
A

安全情報……的確に迅速に

ひとりでも多くの人々の健康に貢献したい。
日々、情報の提供と収集に努めています。

私たちの使命

- 常に患者さん、医療関係者の声に耳を傾け、ニーズに合った高付加価値な医薬品を提供します。
- 長期にわたり使用され有効性と安全性に優れた医薬品を、経済的・安定的に提供します。
- 常に品質確保に対する高い意識を持ち、信頼される最高品質を目指します。
- 常に独創的な視点を持ち、新たな技術を追求め、より高度な研究開発に取り組みます。
- 良き文化と伝統を継承し、企業価値を持続的に高めます。

ブランドマークについて

ブランドマークの名称は、
" サクラ・グローバル " です。
日本の企業として、世界中の人びとの健康を願って、高品質で高付加価値な医薬品の開発にチャレンジしてまいります。

「サクラマーク」の継承 サクラピンク

高田製薬はこれまでも、“人の心”を大切にする桜を象徴とした「サクラマーク」を社章としてきました。そこには、桜のように“多くの人びとに愛され、信頼される製品”でありたいという願いをこめています。良き文化と伝統を継承することを目指し、5つの会社信条を、桜の5枚の花弁で表現しました。

「グローバル企業」として グローバルブルー

グローバル化が進む時代の流れの中で、高田製薬は世界中の人びとに高品質な製品を届けたいと考えています。その意志と責任の象徴として“地球”をデザインしました。

「製薬企業」として タカタブルー

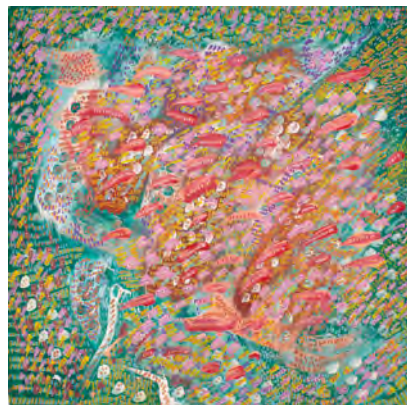
私たちの製品を通じて、人びとの健康に貢献したいと願う高田製薬。その使命を全うするため、常に「誠実」に高い倫理感を持って行動していくことを約束し、この「タカタブルー」で表現しています。

「日の出」=チャレンジ精神

現状に満足せず、新たな分野、より高度な技術へチャレンジしていく。
研究開発型企業として独創的で高付加価値な製品の開発を目指す、高田製薬としての確固たる信念を打ち出しました。
※花弁の中は高田製薬の信頼と責任の証しである3つのA(安心品質・安定供給・安全情報)を表現しています。



本報告書の表紙について



今回の報告書より、障害をもつ人たちの芸術作品を表紙に採用しました。これからも様々な活動を通じて、誰もが暮らしやすい社会づくりに貢献したいと考えております。

「海のファンタジー」作者 西川 泰弘（にしかわ やすひろ）様

作品の特徴

点描とストロークにより構成された作品で、作品が完成した後、その時の思いや彼が感動した光景など、完成したイメージからタイトルを付けている様子がある。自然の営みや、広がっていく無限の空間や植物や人間などの有機的な抽象物、さまざまな形態は、アボリジニのアーティストの作品と共通しているコスモロジーを感じると評されている。

Contents

■ 代表取締役社長からのメッセージ	1
■ 経営理念、私たちの使命、編集方針等	2
■ 沿革	4
■ 事業の強みと特徴	6
■ 高田製薬 CSR の推進	8
■ 高田製薬 CSR 重要課題（マテリアリティ）	13
■ SDGs に関連する CSR 重要課題（マテリアリティ）と高田の取り組みについて	14
■ 人事・労務・環境データ一覧	45

編集方針

高田製薬株式会社は、全てのステークホルダーの皆さまに私たちの CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の取り組みをお伝えし、理解を深めていただくために、CSR 報告書を発行いたしました。

開示情報に関する注意事項

本報告書には、高田製薬株式会社の過去と現在の事実だけでなく、公開日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略に基づいた将来予測が含まれています。
諸条件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。

【本件に関するお問い合わせ先】

高田製薬株式会社
コーポレート本部 総務部CSR推進課
e-mail：csr-promotion@takata-seiyaku.co.jp



1895年 2月 東京都淀橋区（現新宿区）に高田益次郎が家庭薬中心に創業

1928年 11月 高田製薬株式会社に変更
代表取締役社長 高田源兵衛就任

1945年 9月 東京都向島区寺島町（現墨田区東向島）に本社移転

1954年 12月 代表取締役社長 関根毅一就任

1960年 9月 代表取締役社長 高田伊之助就任

1964年 2月 埼玉県大宮市（現さいたま市大宮区）大成町に大宮工場竣工

1973年 1月 日本化薬株式会社と販売提携

1975年 12月 塩野義製薬株式会社と販売提携

1977年 7月 埼玉県大宮市（現さいたま市西区）宮前町に大宮工場（GMP適合工場）移転

1980年 7月 東京都台東区鳥越に本社移転

10月 株式会社ヤクルト本社と販売提携（健康食品）

1985年 6月 代表取締役社長 高田茂樹就任

1994年 1月 幸手研究所・工場竣工

2002年 2月 大宮第二工場竣工

2006年 6月 株式会社ヤクルト本社と販売提携（医薬品）

2007年 3月 北埼玉工場竣工

2010年 12月 代表取締役会長 高田茂樹就任
代表取締役社長 高田浩樹就任

2014年 5月 幸手工場 物流センター棟、内服固形製剤棟竣工

2016年 4月 埼玉県さいたま市南区に本社移転

6月 東京支店開設

2022年 5月 セオリアファーマ株式会社と資本及び業務提携

2023年 7月 北埼玉工場2号棟竣工

10月 株式会社ヤクルト本社とエルプラット等のがん関連医療用医薬品の販売移管・承継に関する基本合意書締結（2024年4月販売開始）

12月 高田ヘルスケアソリューションズ株式会社を設立

2024年 1月 さいたま支店開設

高田ヘルスケアソリューションズ株式会社設立

2023年12月19日にヘルスケア分野における課題解決策を提供することを主な事業とする100%子会社として、高田ヘルスケアソリューションズ株式会社を設立しました。

当社は、小児科領域を強みとした付加価値ジェネリック医薬品をはじめとして、「独創的な製品を開発し、高品質の製品を適正に供給することにより、人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げ、研究開発型の会社として主に医薬品の研究開発・製造・販売事業を展開しています。昨今、患者様を中心とした医療を実現するためには、医薬品事業だけに留まらず、社会課題の解決に貢献していくことが重要となっております。当社では、医薬品の研究開発・製造・販売事業とは独立した新規事業を推進する組織として、『高田ヘルスケアソリューションズ』を設立し、ヘルスケア分野における課題に対して価値ある解決策を提供することで、人々の健康に貢献してまいります。

【会社概要】

会 社 名：高田ヘルスケアソリューションズ株式会社

経 営 理 念：価値あるヘルスケアソリューションを提供し、人々の健康に貢献します。

所 在 地：埼玉県さいたま市南区沼影一丁目11-1

代 表 者：代表取締役社長 高田 浩樹

設 立 日：2023年12月19日

資 本 金：1,000万円

従 業 員 数：4名

事 業 内 容：ヘルスケア領域におけるソリューションの提供
医薬品、健康食品、医療機器・ヘルスケアデバイスの製造販売

当社との関係：当社100%子会社

【ブランドマーク】



【高田ヘルスケアソリューションズ株式会社ホームページ】

<https://takata-hs.co.jp/>



北埼玉工場2号棟竣工

注射剤の生産拠点である北埼玉工場（埼玉県加須市）の敷地内に、高活性無菌注射剤の生産を可能とする2号棟を2023年7月に竣工いたしました。製造エリアには、抗がん剤などを取り扱うため外部に漏洩させない特殊な製造設備と、注射剤の菌汚染を防ぐため人の介在を極力なくした高レベルな製造技術を投じた生産ラインを構築しました。

生産能力：高活性の凍結乾燥製剤と液剤含めて年間500万バイアル（φ24.3mmバイアル換算）に対応する注射剤専用工場です。将来は一般注射剤の生産も可能なスペースを確保しており、合計で1,000万バイアルの生産能力を発揮します。

